田んぼに憲法9条

昨年、いわゆる田んぼアートに挑戦しました。古代米とコシヒカリを組み合わせて「世界の宝 憲法九条」と描いたのです。稲刈り後、こんなエピソードをうちのスタッフが報告してくれました。

車を止めて女性が近づいてきました。

「この田んぼの方ですか」

毎日通勤で通る道だそうで、刈り終わった田んぼを見て、とうとう解読できなかったと悔しく思っていたそうです。

「あっちの一列は、たぶんね、『世界の宝』って読むんじゃない？　孫がね、教えてくれたのよ。おばあちゃん、世界の宝って読むんだよって。娘も孫も何回も何回も通ってあの高いところから何て読むのかな～って見てたんだけどわかんなくていたのよ。向こうの田んぼのおじさんにも聞いたりしてね。あと、あそこには『九』って書いてあったんじゃない？最後は『束』かしら。」

手で形をなぞって見せてくれました。そこまで一生懸命、家族で楽しんでくれていたなんて、うれしいかぎりです。一緒に働いている社員や、社長にも声をかけてくれたそうです。テレビ取材が来なかったことに非常に残念がってくれました。来年はもうちょっと読めるように出来るかな。とにかく、よっしゃ来年も挑戦するぞ！と思える出会いでした。

古代米で「世界の宝 憲法九条」と植えました。

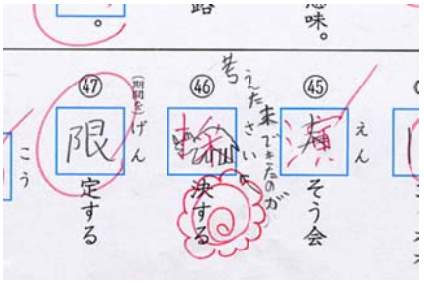
9枚の板を並べて、題して「展望九条」

希恵の登校

前号で少しふれたけど、次女（希恵）は結局、小学3年の途中から6年までを不登校で通し、修学旅行も卒業式にも出ませんでした。親も無理に行かせるようなことはしませんでした。

中学は本人の希望で市外に越境入学し、3年間、車で送り迎えをしました。そして昨年の春、がんばって高校に合格し、毎日ファッショナブルに？通学しています。

耕太の感じ



右は、一昨年の年末に掃除していて見つけた末っ子（耕太）のテスト用紙です。採決の「採」の字が書けなくて、「犀」の絵を描いてしまったうちのバカ息子を自慢したい。（親バカ）

そして、それに花マルをくれた先生もなかなかだよねぇ。

民美の論文

長女（民美）は、「種まきから食卓まで」を謳う農業と栄養の四年制の専門学校に通っています。この春の卒業後、管理栄養士の受験資格を得るために1年間、同校の食堂で実務経験を積むという進路が決まっています。

その卒業論文の「はじめに」には、こんなことを書いています。

近年、食の乱れがいわれるようになった。孤食・欠食、中食・外食の増加。偏った食生活が要因となって発症していく糖尿病、高脂血症、高血圧、動脈硬化など、生活習慣病の増加と低年齢化。低体温や、体格は向上しても、体力の落ちている子ども達。食品添加物や残留農薬、輸入食品、BSEなどの安全性の不確かさ等々、食をとりまく状況は不安でいっぱいである。

しかし、やはり、健康の源は食生活にある。健康を育むのもおびやかすのも日頃の食生活に大きな比重があると思う。本稿では、健康的な食生活は、日本食中心の食生活にあり、それを実現するためには、農業を守る必要があることを明らかにしていきたいと思う。（以下、本文略）

これが、ある懸賞論文に応募して入賞したとかで、佳作でも10万円の賞金だとか。がんばってるなぁ。